



郵政産業ユニオン TOKYO

● 発 行 ●
 郵政産業労働者ユニオン
 東京地方本部
 発行責任者 田中 孝史
 〒104-0031 中央区京橋 3-6-3
 京橋通郵便局 5F
 TEL・FAX 03-3535-5447
 piwutokyo@gmail.com

第1回支部長会議を開催 増員、組織拡大の取り組みを強めよう

10月21日、第1回支部長会議が開催されました。田中東京地本委員長は、物価高が続いている、24春闘では物価高騰に負けないう大幅賃上げを勝ちとろうとあいさつしました。

続いて地本から2023年度の具体的な行動、年間計画が提起され全体で議論しました。ヤマトとの協業が始まり、今でさえ要員不足で困窮しているのにクロネコゆうパケットが増えたらどうなるのか不安の声が噴出しました。情宣活動を通じて社会に要員不足を訴えていく。支社交渉の場で現場の声をぶつけていく等、あらゆる行動をとりまくんでいくことを確認しました。

吉田中央本部副委員長から全労連組織拡大重点計画エントリーについて説明がありました。この間、京都府協議会、九州地本、近畿地本の3機関がエントリーし行動を展開してきた。第一に各機関が組織の強化と拡大について議論し、共有



開催のあいさつをおこなう

田中地本委員長 10月21日

することの大切なこと。第二に全労連の援助によって、これまで以上の規模での宣伝行動等が可能になること。第三に各地域のローカルセンターと連携することで新たなつながりが生まれること。以上3点を踏まえて、東京地本のエントリーについて要請しました。各支部からは早い段階で

配布局など計画的なスケジュールを提示してほしいと意見が出され、地本としてもエントリーに前向きにとりくむこととしました。

労働相談ではパワーハラコメントが増加傾向にあり、相談者に寄り添うことで組織拡大につながっています。

春闘アンケート、非正規署名の積極的などりくみの確認、さらには安心して働き続けられる職場をつくっていきとりにくみについても参加者全体で確認し会議を終えました。

有給の生理休暇取得の経験を生かして 第12回女性部大会で活発な討論

本部女性部大会は9月23日にリモート併用で開催されました。東京地本代議員の富田良子さんが議長に選出され、活発な討論が行われました。一昨年の生理休暇を無給とする会社提案に対する女性部の取り組みは、他団体からも大きな関心が寄せられました。学習会開催、アンケートを集めその結果を使って会社との交渉にあたりました。会社は一部修正をはかり有給の生理休暇は1日ですが取得できる所まで押し返しました。不満は勿論ありますが、声を挙げたことで変えられた経験が報告されました。



討論ではパワハラ防止のためのポスターを地本内各支部分も作成して掲示板に張り出したことや、労働相談からの組合加入の経験が語られ参加者に大きな励みになりました。JPビジョン2025によって人減らしが顕著になり、後補充も無く若い社員が多く辞めていく状況や、営業目標の推進が日々追求されているなどの実態が発言されました。

女性部が取り組んでいる「リモカフェゆうゆう」への期待や、希望する学習会のテーマなどの意見も出され、2023年度の女性部の活動を充実させる為の大会となりました。女性部長に有村三津さん(神戸中央支部)が再任、常任委員も信任されました。

女性部が取り組んでいる「リモカフェゆうゆう」への期待や、希望する学習会のテーマなどの意見も出され、2023年度の女性部の活動を充実させる為の大会となりました。女性部長に有村三津さん(神戸中央支部)が再任、常任委員も信任されました。

東日付印 京

「子供だけで留守番させる」「子供だけで登下校させる」これら二つとも虐待になる▼10月4日に、提出された埼玉県虐待禁止条例の一例。しかし、SNSやネットなどで問題になり、11日に埼玉自民党が取り下げた▼私と同じ昭和の時代では考えられないこと。自宅に誰かいれば鍵などが開けていなかった。地域で班が作られ、小学生1年生から6年生までが10人程度で登校していた。危ない場所は、緑のおじさんやおばさんと呼ばれた役所で雇われた人が、緑色の服を着て黄色の旗を持っていた▼そんな人達を削減したのは各行政。現在は、ボランティアの人が担っている。登下校もバラバラ。民間の学童の車が小学校の前に陣取りもしている▼郵便局も同じで、「まだまだ労働力には余裕がある」と何を根拠に言うのか。機械が壊れても替わりはない。あるもので対応と平気で言う。施策が失敗しても誰も責任を取らない。郵便局はそんな輩が蔓延している。

「子供だけで留守番させる」「子供だけで登下校させる」これら二つとも虐待になる▼10月4日に、提出された埼玉県虐待禁止条例の一例。しかし、SNSやネットなどで問題になり、11日に埼玉自民党が取り下げた▼私と同じ昭和の時代では考えられないこと。自宅に誰かいれば鍵などが開けていなかった。地域で班が作られ、小学生1年生から6年生までが10人程度で登校していた。危ない場所は、緑のおじさんやおばさんと呼ばれた役所で雇われた人が、緑色の服を着て黄色の旗を持っていた▼そんな人達を削減したのは各行政。現在は、ボランティアの人が担っている。登下校もバラバラ。民間の学童の車が小学校の前に陣取りもしている▼郵便局も同じで、「まだまだ労働力には余裕がある」と何を根拠に言うのか。機械が壊れても替わりはない。あるもので対応と平気で言う。施策が失敗しても誰も責任を取らない。郵便局はそんな輩が蔓延している。

(K)

みらい講座 10月14・15日

東京晴海・東京海員会館

ユニオンみらい講座が東京都晴海の東京海員会館で10月14日と15日の2日間にかけて開催されました。今年の参加者は全国から23名が集まりました。14名が初めての参加となり、少し緊張しながらもそれぞれのチームで意見を交わし、交流を深めました。



全国から23名参加、東京は4名

1日目は労働組合の歴史から始まり、なぜ労働組合が必要なのか・なぜ団結してたたかうのかという必要性を学びました。そこから労働者に郵政ユニオンを知ってもらい、信頼され組合に活動に協力されるために必要な取り組み方を学んでいきました。ビラ・チラシをどのように作れば手に取ってもらえるか、レイアウトはどうすれば見やすいか、ビラ配りの際に印象良く持たれるかといった取り組み方を実際に練習し、チーム内でより良い方策を意見交流して深めていきました。

2日目はこれからの郵政ユニオンの取り組みについて講演を受けました。春闘アンケートや非正規署名の重要性と、同じ問題で悩んでいる労働者に耳を傾けることが組合員加入の第一歩と学び、最後に参加者一人ひとりがスピーチを行いました、みらい講座は閉会しました。



仲間を増やし、要求を実現する組織にしよう

東京地評第22回定期大会を開催

東京地評第22回定期大会が9月23日に銀座ブロッサムで開催されました。総計294名の参加で4年ぶりの大規模の大会となりました。加盟組織の発言では厳しい職場環境を切り開く活発な議論が続き、青年ユニオンは「非正規春闘で成果があり非正規による開かれた春闘となった。全国一律1,500円以上をめざし10月改定周知ゾーン宣伝から1年を通じて運動を展開してきた」。



女性センターからは「非正規労働者の多数を女性が占めており、最賃問題は日本の低賃金構造を打開しジェンダー平等を実現する重要な一歩」と強調しました。JMITU東京は「23春闘をストライキで賃上げを上積みさせた。学習と教

宣活動、産別の仲間の支援の力が大きい」等の発言がありました。議案は一括して全会一致で確認、役員選挙についても全立候補者が信任、郵政ユニオンからは飯田地本執行委員がこの1年間地評の運動に携わっていきます。

要求での組織化と組織の抜本的強化を

東京地評・全労連加盟単産地域協議会第6回定期総会が10月22日全労連会館で開催されました。

1年間の活動を振り返り、岸田政権の閣議決定に基づく軍事大国化への道が一気に突き進んだこと。23春闘は4年ぶりと言われる物価高騰の中でたたかわれ、全労連はたたかう労働組合のバージョンアップを加盟組織に呼び掛け、多くの組合がストライキを構えてたたか



東京地評・全労連加盟単産地域協議会第6回定期総会

い2年ぶりの6000円台の賃上げを勝ち取ったが、物価高騰を上回るまでの賃上げにはならなかったこと。コロナ感染の終息が見えず、異常な物価高と平和への危機が迫るなか、労働者や組合員のつながり、結びつきが困難になるなかで要求での組織化と組織の抜本的強化が極めて重要な課題だとしています。13人からの発言を受け、「2024年度運動方針案」「決算報告・監査報告」「財政方針」の満場一致で採択、新年度役員選出、3本のメインスローガン、総会宣言の採択を得て終了しました。

当面の行動日程

- 11月3日(金・祝) 憲法集会 (国会正門前) 13時45分
- 5日(日) パレスチナに平和を! 緊急行動(日比谷公園幸門) 17時30分
- 6日(月) 労契法20条寒冷地手当控訴審(511法廷) 13時30分
- 9日(木) 本部ビラ情宣 (中野局・杉並局)
- 23日(木・祝) 沖縄も日本も戦場にさせるな! (国会正門前) 14時
- 10日(金) パレスチナに平和を! 緊急行動(国連大学前) 18時30分
- 25日(土)・26日(日) 日本母親大会(山口県山口市 KDDI維新ホール) 大会(新橋交通ビル)
- 12月2日(土) 東京全労協大会(新橋交通ビル)
- 3日(日) 兼子さんを偲ぶ会
- 7日(木) 第4回東京地本執行委員会
- 16日(土) 東京母親大会 (町田市民ホール)

●毎月19日 総がかり行動(衆議院第二会館前) 日曜日は14時・平日は18時30分



「み」からホームページへ